



厚生労働大臣指定法人・一般社団法人

いのち支える自殺対策推進センター

Japan Suicide Countermeasures Promotion Center (JSCP)

いのち支える

自殺の原因・動機と そこから見える関係機関 ～定時制・通信制高校における特徴～

定時制・通信制高校の生徒は高リスク

高校生の自殺者数と自殺死亡率（性別・学校種別、2022年）

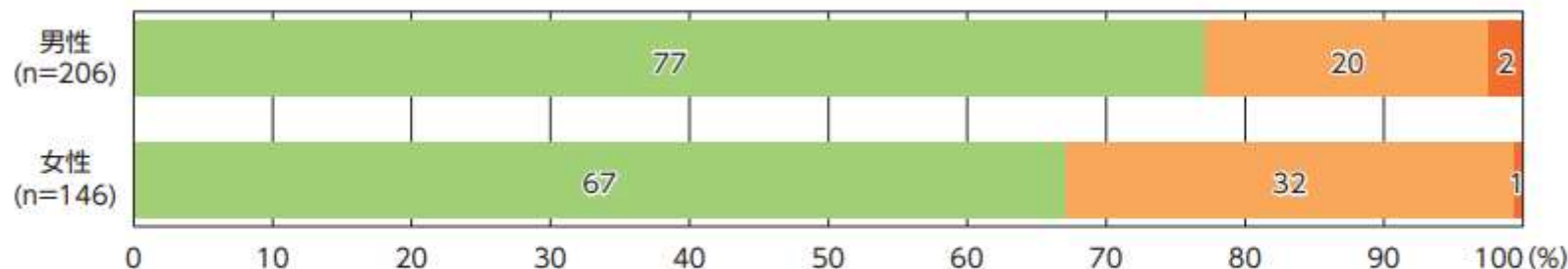
		自殺者数	全生徒数	自殺死亡率
総数				
	全日制	259	2,933,199	8.8
	定時制／通信制	89	310,089	28.7
	特別支援級	6	65,355	9.2
男子				
	全日制	161	1,491,676	10.8
	定時制／通信制	42	157,918	26.6
	特別支援級	5	42,466	11.8
女子				
	全日制	98	1,441,523	6.8
	定時制／通信制	47	152,171	30.9
	特別支援級	1	22,889	4.4

「自殺の統計：各年の状況」（厚生労働省）等よりいのち支える自殺対策推進センター作成

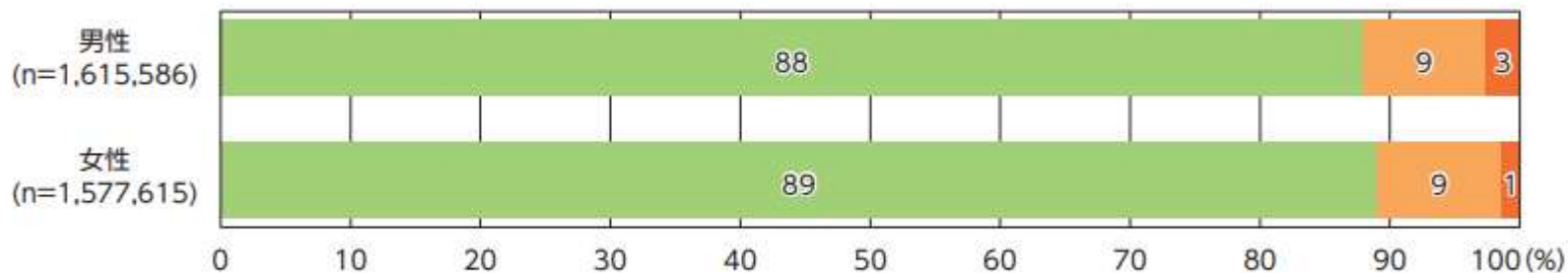
第2-3-34表 【高校生】各年における自殺者数(自殺日集計)¹⁷

高校生	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	全日制	定時制・通信制	特別支援学校
	241	236	279	340	312	352	257	89	6

第2-3-35図 【性別 | 高校生】高校の課程の構成比 **自殺者数**

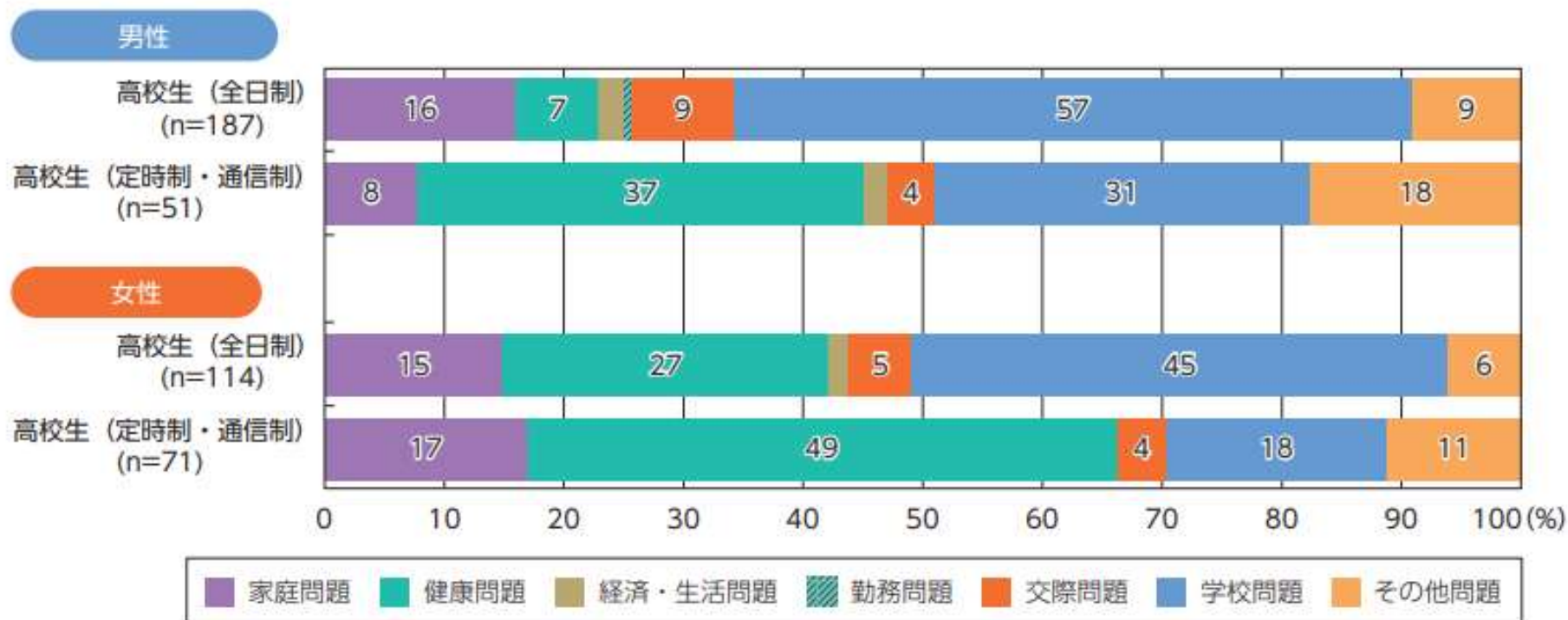


第2-3-36図 (参考:令和4年学校基本調査)【性別 | 高校生】高校の課程の構成比



■ 高校生 (全日制) ■ 高校生 (定時制・通信制) ■ 高校生 (特別支援学校)

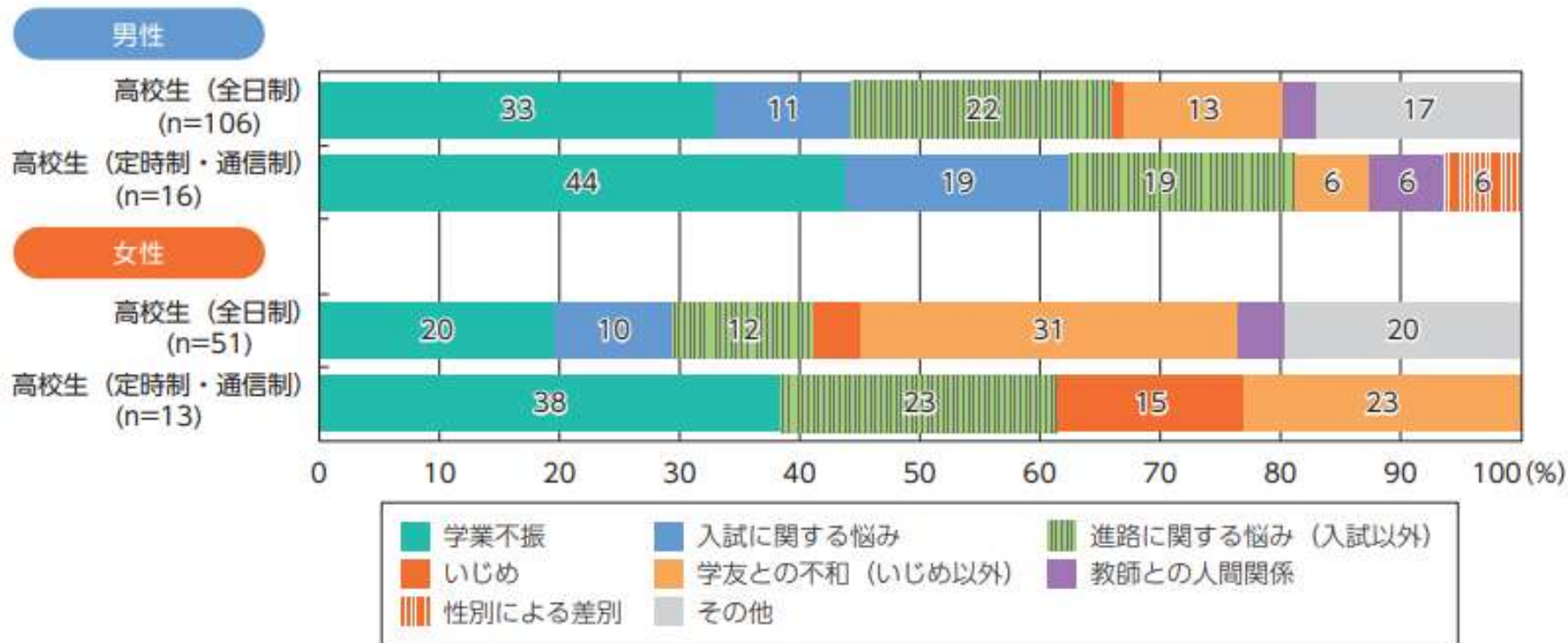
第2-3-37図 【性別、高校生(課程別)】自殺の原因・動機の構成比



定時制・通信制では、自殺の原因・動機について
男女ともに、「健康問題」、「その他問題」が全日制に比べてその割合が高い

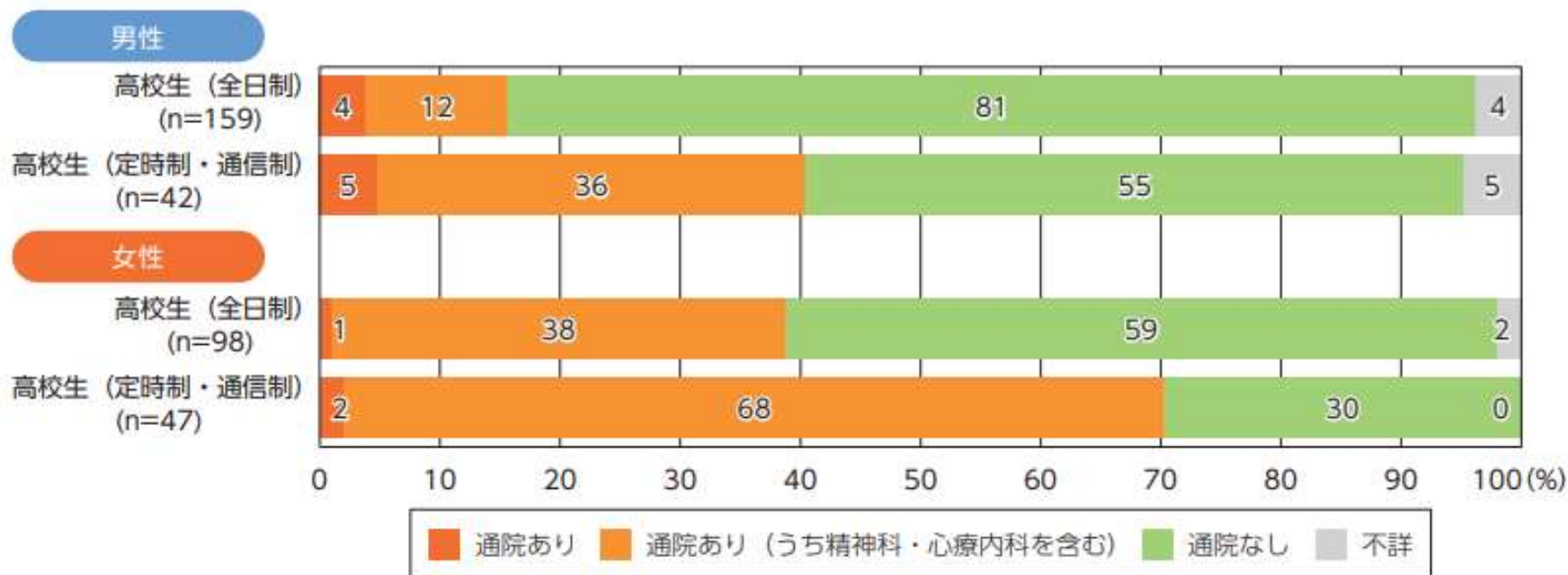
※「学校問題」が全日制に比べてその割合が低い

第2-3-38図 【性別、高校生(課程別)】自殺の原因・動機の構成比(学校問題)



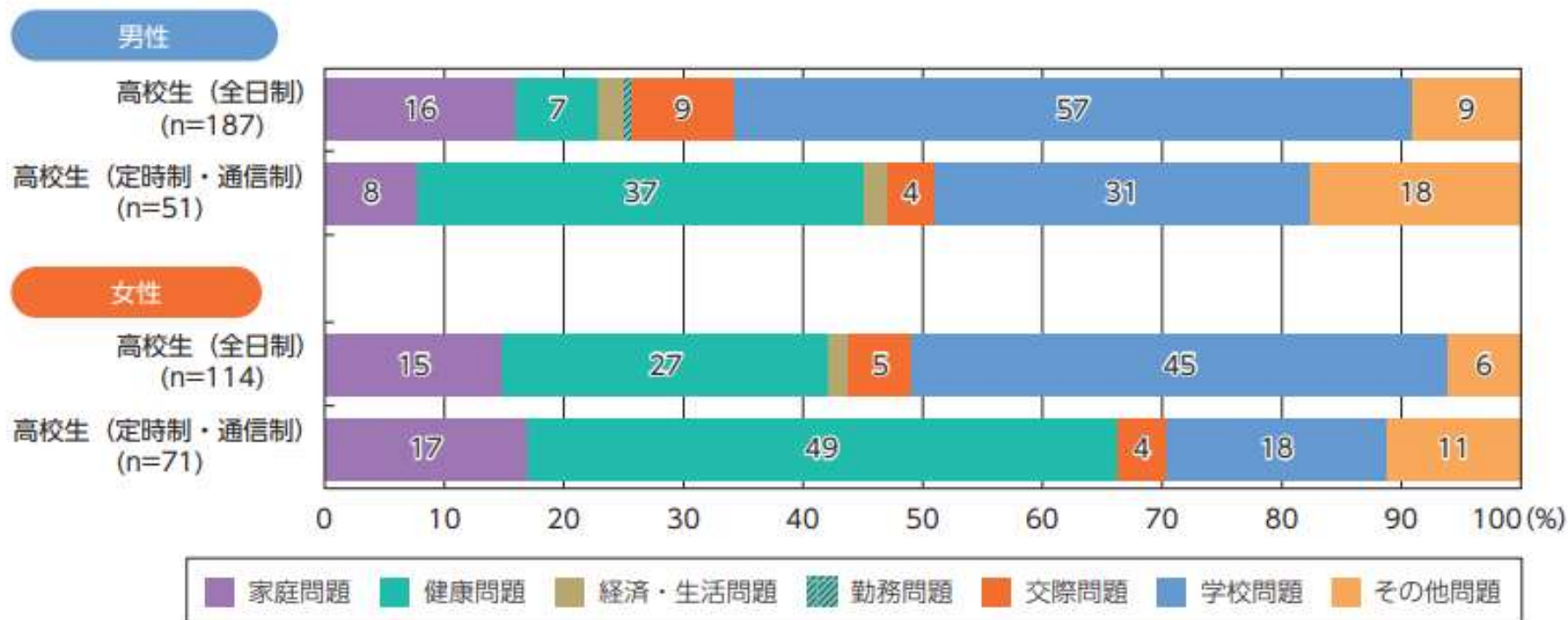
定時制・通信制では、自殺の原因・動機「学校問題」の中では、男女ともに「学業不振」が、全日制に比べてその割合が高く、男性では、「入試に関する悩み」、女性では、「進路に関する悩み」や「いじめ」が、全日制に比べてその割合が高い。

第2-3-39図 【性別、高校生(課程別)】通院の有無の構成比



高校生について、性別、高校の課程別に通院の有無の構成比(第2-3-39図)をみると、女性は男性に比して精神科・心療内科に通院している割合が大きく、定時制・通信制は全日制に比して精神科・心療内科に通院している割合が大きい。特に、女性の定時制・通信制において精神科・心療内科に通院している割合は約7割と顕著に大きく、男性の全日制における精神科・心療内科通院割合は約1割と顕著に小さい。

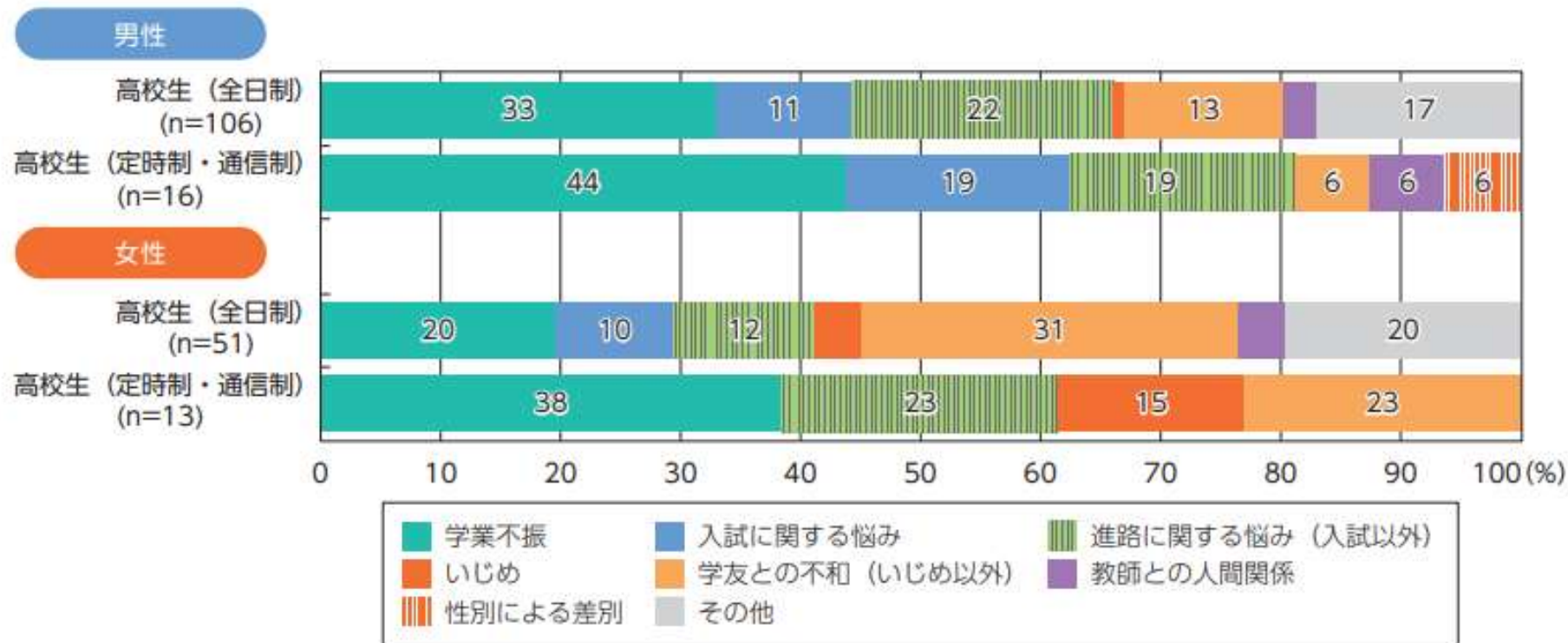
第2-3-37図 【性別、高校生(課程別)】自殺の原因・動機の構成比



定時制・通信制では、自殺の原因・動機について
男女ともに、「健康問題」、「その他問題」が全日制に比べてその割合が高い

※「学校問題」が全日制に比べてその割合が低い

第2-3-38図 【性別、高校生(課程別)】自殺の原因・動機の構成比(学校問題)



定時制・通信制では、自殺の原因・動機「学校問題」の中では、男女ともに「**学業不振**」が、全日制に比べてその割合が高く、男性では、「**入試に関する悩み**」、女性では、「**進路に関する悩み**」や「**いじめ**」が、全日制に比べてその割合が高い。